

# かぼちゃ・・・I

担当者 技能研究員 藤井 翔馬

試験課題名	品種系統選定試験
目的	本町に適した多収・高品質の品種を選定するため比較検討し普及に資する
期待される成果	優良品種の導入により、生産の安定と経済性の向上を図る。
連携機関	上川農業改良普及センター士別支所、 JA北ひびき和寒基幹支所 和寒町蔬菜組合連合会南瓜部会

## 1 供試品種・資材

品種

※えびす(タキイ)	ほっこりうらら(タキイ)	くりゆたか(みかど協和)
くりゆたか7(みかど協和)	H0-001(サカタ)	H0-002(サカタ)
くり大将(トキタ)	くり将軍(トキタ)	こふき(ナント)
ST-002(ナント)	ほっとけ栗たん(渡辺採種場)	らいふく(日本園芸生産研究所)
SQ-018(雪印)		

※基準品種

## 2 耕種概要

土 壤 ～ 灰色低地土(埴壤土)

前 作 ～ 越冬キャベツ

播 種 日 ～ 6月3日 定 植 日 ～ 6月14日 収 穫 日 ～ 9月12日

整 枝 方 法 ～ 子蔓2本仕立て 5節目まで整枝・摘花 ※ほっとけ栗たんのみ放任

栽 植 密 度 ～ 畦幅3.0m×株間0.75m 444株/10a

※ほっとけ栗たん 畦間3.0m×株間0.5m 666株/10a

試験区面積～0.18a (3m x 6m) 8株中両端の株を除いた5株を調査 2反復

※ほっとけ栗たん 0.12a (3m x 4m)

## 3 土壌診断結果と施肥量

### (1) 土壌診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P205	K20	MgO	CaO	熱水抽出N
6.02	0.054	55.0	33.4	48.4	549.0	4.2

### (2) 土改資材と堆肥 (kg/10a)

堆 肥 ～ 1,000kg

### (3) 施肥内容 (成分量%)

基 肥 ～ BBS200L号 (10 - 15 - 12) 6月10日 全層施肥

### (4) 肥料の要素量

(kg/10a)

		N	P	K
基 肥	BBS200L号 90kg	10.8	18.0	9.0
合 計		10.8	18.0	9.0

## 4 調査項目

生 育 調 査 ～ 播種日・発芽期・発芽率・定植日・初期生育

雌花開花期・着果節位・着果期・収穫日・成熟日数・草勢・うどんこ病

果 実 特 性 調 査 ～ 果形・果皮色・肉厚・果肉色

収 量 調 査 ～ 10a当たり収量・収量比・1株当たり平均個数・平均一果重・規格別割合

食 味 調 査 ～ 粉質程度・甘味・食味・乾物率

貯 蔵 調 査 ～ 糖度 (Brix) ・腐敗率

5 生育調査

項目	品種	えびす	ほっこりうらら	くりゆたか	くりゆたか7	H0-001	H0-002
播種日		6月3日				6月5日	
発芽期		6月10日	6月10日	6月9日	6月10日	6月11日	6月11日
発芽率(%)		100	100	98	98	100	100
定植日		6月14日					
初期生育 播種後45日	つる長(cm)	216.2	202.7	127.3	178.7	241.0	228.2
	葉数(枚)	13.1	13.3	10.7	13.1	15.8	15.2
	草勢	3	3	2	3	3	3
	うどんこ(無0~4塘)	0	0	0	0	0	0
開花始	雄花	7月18日	7月17日	7月17日	7月18日	7月17日	7月17日
	雌花	7月19日	7月18日	7月18日	7月19日	7月19日	7月18日
着果期		7月20日	7月20日	7月19日	7月20日	7月20日	7月19日
第一果 着果節位(節)		9.3	7.8	6.7	7.2	7.7	7
9月11日	つる長(cm)	603	462	431	519	471	480
収穫日		9月13日					
成熟日数		56	57	57	56	56	57

5-2 生育調査

項目	品種	くり大将	くり將軍	こぶき	ST-002	ほっとけ栗たん	らいふく	SQ-018
播種日		6月3日						
発芽期		6月10日	6月10日	6月10日	6月10日	6月9日	6月10日	6月10日
発芽率(%)		100	98	100	76	100	100	100
定植日		6月14日						
初期生育 播種後45日	つる長(cm)	219.0	168.5	206.5	161.7	251.5	181.2	186.7
	葉数(枚)	14.1	12.5	13.6	11.7	14.8	13.7	12.3
	草勢	4	3	4	3	5	3	3
	うどんこ(無0~4塘)	0	0	0	0	0	0	0
開花始	雄花	7月17日	7月17日	7月18日	7月18日	7月15日	7月17日	7月18日
	雌花	7月18日	7月18日	7月19日	7月19日	7月16日	7月19日	7月19日
着果期		7月19日	7月20日	7月20日	7月20日	7月17日	7月20日	7月20日
第一果 着果節位(節)		7.9	7.9	8.1	7.1	5.6	7.3	8.4
9月11日	つる長(cm)	490	556	781	579	639	587	596
収穫日		9月13日						
成熟日数(日)		57	56	56	56	59	56	56

6-1 果実特性・収量調査

項目	品種	えびす	ほっこりうらら	くりゆたか	くりゆたか7	H0-001	H0-002
果形		扁平	扁平	扁平	扁平	扁平	扁平
果皮色		緑	濃緑	緑	緑	緑	緑
肉厚	赤道部(cm)	2.7	2.7	2.4	2.2	2.7	3.2
	花痕部(cm)	3.1	2.2	2.7	2.5	1.4	2.4
果肉色(濃5~1淡)		3	4	3	3	3	4
10a当たり収量(kg)		2,073	1,930	1,981	2,080	2,149	2,667
収量比(%)		100%	93%	96%	100%	104%	129%
1株当たり平均個数		2.3	2.3	2.3	2.2	2	3.9
平均一果重(kg)		2.03	1.89	1.94	2.12	2.42	1.54
良果割合(%)		83	91	91	90	85	90
良果収量(10a/kg)		1,721	1,756	1,803	1,872	1,827	2,400
規格別割合(%)	3玉	0	0	0	0	0	0
	4玉	9	9	13	10	50	3
	5玉	48	30	26	52	40	0
	6玉	26	30	35	29	5	18
	7玉	17	13	22	10	5	36
	8玉	0	13	4	0	0	20
	9玉	0	4	0	0	0	13
	10玉	0	0	0	0	0	13

## 6-2

項目		品種	くり大将	くり将軍	こふき	ST-002	ほっとけ栗たん	らいふく	SQ-018
果 形			扁平	扁平	扁円	扁平	心臓	扁平	円筒
果 皮 色			濃緑	濃緑	緑	黒緑	濃緑	緑	黒緑
肉 厚	赤道部(cm)		3.3	2.9	2.2	3.1	3.1	2.2	3.6
	花痕部(cm)		1.7	2.6	2.2	2.2	3.5	2.4	2
果肉色(濃5~1淡)			4	4	3	3	4	5	5
10a当たり収量(kg)			2,042	2,149	2,442	2,194	2,697	1,495	2,149
収 量 比 (%)			99%	104%	127%	111%	130%	70%	104%
1株当たり平均個数			2.5	2.2	2.5	2.7	1.8	1.7	2
平均一果重(kg)			1.84	2.2	2.2	1.83	2.25	1.98	2.42
良果割合(%)			96	90	92	89	83	82	94
良果収量(10a/kg)			1,961	1,934	2,247	1,952	2,239	1,225	2,020
規格別割合(%)	3玉		0	0	0	0	0	0	0
	4玉		0	15	28	7	44	6	50
	5玉		20	60	28	11	22	41	39
	6玉		56	25	36	48	11	35	0
	7玉		20	0	8	33	17	18	11
	8玉		4	0	0	0	6	0	0
	9玉		0	0	0	0	0	0	0
	10玉		0	0	0	0	0	0	0

## 7 食味・貯蔵調査

項目		品種	えびす	ほっこりうらら	くりゆたか	くりゆたか7	H0-001	H0-002
10月 11日	甘味	(強5~1弱)	3.0	2.6	2.5	2.0	2.0	2.8
	粉質程度	(強5~1弱)	3.0	3.4	2.6	2.3	2.0	2.6
	食味	(良5~1不良)	3.0	2.8	2.4	1.9	1.9	2.8
	糖度(Brix)		11.3	12.5	9.9	11.0	11.7	11.7
	乾物率(%)		17.6	18.5	15.4	16.9	15.9	16.2
11月 28日	甘味	(強5~1弱)	3.0	3.6	2.9	3.7	2.6	2.7
	粉質程度	(強5~1弱)	3.0	3.4	1.9	3.6	2.5	2.4
	食味	(良5~1不良)	3.0	3.7	2.3	3.7	2.5	2.5
	糖度(Brix)		13.0	13.4	10.9	13.0	12.4	11.8
	乾物率(%)		17.1	19.3	15.7	20.3	14.6	14.5
	腐敗率(%)		20	4	14	16	5	24

## 7-2

項目		品種	くり大将	くり将軍	こふき	ST-002	ほっとけ栗たん	らいふく	SQ-018
10月 18日	甘味	(強5~1弱)	3.3	3.5	3.0	2.4	3.4	3.1	3.6
	粉質程度	(強5~1弱)	3.3	3.5	2.8	3.1	3.7	3.3	3.6
	食味	(良5~1不良)	3.5	3.6	3.0	2.4	3.6	3.1	3.7
	糖度(Brix)		11.3	12.5	11.4	12.5	12.5	12.7	14.5
	乾物率(%)		18.6	18.9	18.9	21.8	21.9	23.2	22.7
12月 5日	甘味	(強5~1弱)	3.2	3	3.5	3.1	3.9	3.5	3.3
	粉質程度	(強5~1弱)	2.8	3.5	3.2	3.2	3.7	3.7	3.1
	食味	(良5~1不良)	3.0	3.0	3.4	3.3	4.0	3.8	3.3
	糖度(Brix)		15.1	12.5	15.8	15.9	16.6	15.6	13.9
	乾物率(%)		19.5	18.3	21.6	15.9	22.4	22.6	18.9
腐敗率(%)		80	5	9	7	40	13	7	

## 8 防除歴

殺 虫 剤	殺 菌 剤
散布なし	7月29日 イオウフロアブル 500倍 8月13日 イデクリーン 800倍

## 9 試験結果概要

### (1) 生育経過

72穴セル成型トレーにポットエースを使用して、6月3日に播種を行った。9日～11日の間に全品種が発芽した。

定植は6月14日に行った。発芽率は概ね良かったがST-002は76%と低く、苗の生育もまばらであったが、定植後の生育は良好であった。

定植直後は干ばつのため二回の灌水を行った。

収穫は全品種を9月13日に行い、生育日数は56～59日であった。

### (2) 果実特性・収量調査結果

1株当たりの平均個数は基準のえびすが2.3個であった。最も多いものはH0-002が3.9個であり、続いてST-002が2.7個、くり大将とこふきが2.5個であった。少ないものはらいふくの1.7個であった。平均一果重はH0-001とSQ-018が2.42kgで最も重く、次いでほっとけ栗たんが2.25kgであった。軽いものはH0-002が1.58kgであった。

総収量は基準品種のえびすが2,073kgであった。最も多かったものはほっとけ栗たんの2,697kg、続いてH0-002が2,667kgであった。少ないものは、らいふくが1,495kgであった。

良果割合は昨年度に比べ高い傾向にあった。良果収量はえびすが1,721kgであった。最も多いものはこふき2,247kg、続いてほっとけ栗たんが2,239kgであった。

### (3) 食味・貯蔵試験結果

10月11日と18日に1回目の食味試験を行い、えびすを基準として比較した。甘さはSQ-018が3.6、食味も3.7と最も高い結果となった。次点でほっとけ栗たんとくり将軍食味が3.6であった。粉質はほっとけ栗たんが3.7で続いてSQ-018が3.6であった。

2回目の食味試験は11月28日と12月5日に行い、ほっとけ栗たんが食味4.0で最も高く、続いてらいふくが3.8、くりゆたか7とほっこりうらが3.7となった。

貯蔵試験は風乾後農協倉庫で貯蔵し、腐敗率は11月27日に全品種を調査した。多いものでくり大将は80%腐敗していたが、その他の品種は昨年度と比較すると少ない傾向にあった。

糖度と乾物率は10月と12月の食味試験時に調査を行った。糖度は10月ではSQ-018が14.5%で最も高い結果となった。12月では、ほっとけ栗たんが16.6%、こふきが15.8%で、ほとんどの品種の糖度は上がっていた。

乾物率は25%以上が望ましく良食味となるが、今年度は非常に低い品種が多く、食味試験の粉質の評価は低くなった。昨年乾物率が30%に近かったくり将軍やほっこりうらは今年度については19%前後となった。

### (4) 考察

今年度は8月上旬から9月上旬にかけて雨が降り続き、圃場が乾かない状態が続いていた。そのため乾物重と粉質が下がったと考えられる。総収量については昨年より良い結果となったが、しっとりとした食感で食味が優れない品種が多くあり、品種特性で乾物率が高いものが高評価となる結果となった。近年このような天候が多いことから、湿害に耐えられる品種が望ましいと感じた。

総収量が最も高かったH0-002は着果数は3.9個であったが、1.5kg前後の果実が多く見受けられた。出荷時の規格は5～6玉(1.7～2.49kg)の価格が最も良いため、収益性の点ではやや低い評価であると考えられる。らいふくは10月と12月の乾物率が高く、食味試験でどちらも結果がえびすより良かったが、着果数が少なく収量性は低くなった。ST-002は着果数が多くえびす並の収量となったが、発芽率が低かったため引き続き調査が必要であると考えられる。

以上の試験結果から、今年度の優良品種はほっとけ栗たん、くり将軍、SQ-018が挙げられる。ほっとけ栗たんは着果数が1.8個とやや少ないものの、株間を狭めて栽培出来るので収量性が期待できる。くり将軍は今年度は乾物率が低くなったものの、えびすと同程度の収量と、過去二年間の試験成績が良かったことを踏まえると優良品種であると考えられる。SQ-018は収量性はえびすと同程度で食味が良く、腐敗果も少ない結果となり、昨年に引き続き良い結果となったことから、今後期待できる品種である。ほっこりうらは昨年はえびすを上回る収量であったが、今年度については下回る結果となり、引き続き調査が必要であると考えられる。食味については冬至前に良くなることから、11月下旬～12月の出荷に適していると考えられる。